

# 私たちは 煉瓦屋です

明治時代には煉瓦のことを煉化石と呼んでいました。煉化石の釜から煉瓦の窯、それを短縮したものが石窯として現代に生きているのではないかと。という考えでピッツァ窯を造っています。当社は創業95年目ですが、ピッツァ窯の製造はたったの15年です。イタリアの熟練した窯職人からすれば私たちなどまだまだだと思えます。でも我々窯職人は石も煉瓦も左官も溶接もこなしてきた自信と職人のプライドがあります。なんとこれも職人が22歳から41歳までの、実際ピッツァを現場で焼いているピッツァイオーロと同じ世代が窯を造っているのです。窯職人はピッツァも焼きます。だからピッツァを焼く職人の気持ちで窯を造っているのです。

# 「窯の仕立て屋」 こだわりの

「基本」としては煉瓦の切り出しから始めて造る窯は大量生産できません。煉瓦の形でドームの形状が微妙に変わり、そこから窯のくせ、引いては窯の個性が誕生していきます。ピッツァ窯を造って感じたことですが、日本には釜と竈の材料しかないことがわかりました。500度の高温でピッツァを焼くには、また小さなドームを煉瓦組みするには日本では流通されていない耐火材料が必要です。その材料はイタリアやフランスから取寄せ、その取寄せた材料の特性を理解した上で、お客様にあつた窯の材料選定をしています。私たちはいわゆる「窯の仕立て屋」なのです。

# 環境に合わせた 石窯のあり方 を提案します

地震が多い昨今、特に床荷重を軽減するために軽量化した石窯が要求されてきました。私たちは5年前から軽量化に特化した石窯を施工しています。

さらに、床と架台をしっかりとアンカー留めして地震で被害が拡大しないように対応しています。石窯の床は柔らかいので、長年使って磨耗した床を新しいものへ交換を希望されるお客様もいらつやいます。私どもの石窯は床板の交換ができます。

薪窯を造る夢を膨らませても、実際に薪を使用できる環境でない地域や建物が増えてきました。でも私どもにご相談いただければ、ガスバーナーを付けた石窯を製作可能です。ただし薪とガスバーナーの併用は危険ですので絶対行わない約束の上でお造りしています。

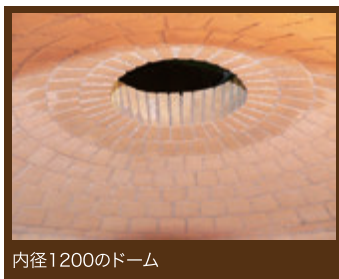
全国のピッツァイオーロさん、石窯を設計から施工、そしてメンテナンスまでできる窯屋が日本にもあるということをお覚えておいてください。いつかあなただけの窯を私どもにお手伝いさせていたしたいと思います。まずはホームページからお気軽にお問い合わせください。

増田煉瓦株式会社  
四代目代表取締役 増田晋一

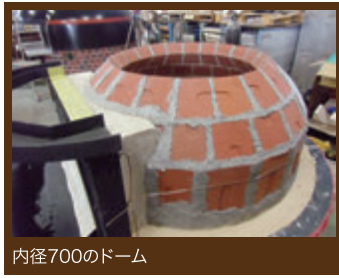
詳しい情報はホームページで  
<http://www.masudarenga.co.jp/bebrick/>

増田煉瓦 検索 BeBRICK  
bake & eat

MSD BRICK  
**増田煉瓦株式会社**  
群馬県前橋市石倉町四丁目18-11  
TEL:027-251-5824



内径1200のドーム



内径700のドーム



薪の使用量1日あたり4.1束(当社調べ)



GANJOUNE

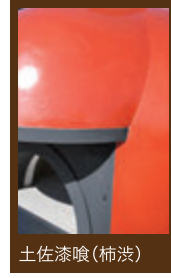
型式:POW-Vulcano 1000(土佐漆喰仕上げ) 燃焼効率を考慮した設計・提案をいたします。



NAPOLI 床板(4分割)



1枚床板



土佐漆喰(柿渋)



軽量化の発砲粘土



メンテナンス:床板の交換(袖板鉄板・入口鋳物を外して新規の床3分割と入替)



石窯にガスバーナー(藤村製作所製)設置も可能